



一般社団法人 全麴協

ニュースフラッシュ 第50号

2026.1.15

ニュースで伝える全麴協の今

発行:全麴協ニュースフラッシュ編集グループ
編集責任者:副理事長 横田節子

山本良明理事長 年頭のご挨拶



新年おめでとうございます。
すがすがしいあらたな年を健
やかに迎えのこととお慶び
申し上げます。

昨年は全国的な異常気象で
高温、集中豪雨、竜巻、自然
発火による大火災等地球の温
暖化を肌身で感じる年でした。

世界を見ますとロシアとウクライナの出口の
見えない戦争、中国による台湾への圧力、米国
トランプ大統領の奔放？な振る舞いに世界中が
振り回される形となりました。

政治では日本初の女性総理が誕生しましたが、
台湾問題の発言で中国から反発を受けた結果、
多くの国民が政治に関心を持つきっかけになっ
たのではないのでしょうか。

一方、全麴協では平成25年より12年の長
きに渡り理事長を務めた中谷信一氏が退任され、
後任として11月の第4回理事会において筆頭
副理事長の山本が推挙され、残りの任期を務め
ることになりました。

私は平成19年9月に富山県利賀村（当時）で
開催された第1回最高段位五段位認定会で認定
され、以降全麴協のお手伝いをさせていただき、
徐々に組織の一員として活動をしてまいりまし
たがまだまだ浅学菲才の未熟者です。

さて、7年度事業もつつがなく進み、今後の
予定として3月に上位段認定審査会、5月には
北海道東川町で第6回そば大学を開催する予定
です。

東川町は旭岳を中心とする大雪山連邦の
連なる青い空と白い山の頂が大変美しい街
であり、鉄道、水道、国道の三つの「道」
がない街ですが、人口は若者を中心に増加
していて、活気に満ち溢れた街であり、写
真の町としても有名です。また旭川空港か
ら車で15分ほどの距離でもありますので、
案内が届きましたら是非参加して頂きます
ようお願いいたします。

新年度事業は、3月に理事会を開催して
大旨を決定し、6月の社員総会でお知らせ
いたします。

本年度は全麴協の目指す方針である「基
本理念」「そば道憲章」を中心とし、認定
会、講習会、研修会等、会員が集まった時
には全員で唱和し、内容を十分理解してい
ただき、会員各位が活動に生かすようお願い
いたします。

結びに、全麴協の段位認定制度を揺るぎ
のないものとし、組織の更なる発展と会員
各位のご健勝とご活躍を祈念し年頭のご挨拶
といたします。



支部長 年頭のご挨拶

北海道支部長 守田秀生

全麺協会員の皆様には、ご健勝で新年を迎えられたことと存じます。昨年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願い申し上げます。

年明け早々、アメリカ国トランプ大統領がベネズエラ国マドゥロ大統領を武力によって拉致・拘束するという、驚愕の事件がありました。安寧な年を願い新年を迎えましたが、一転して世界情勢に不安を感じるスタートとなりました。

北海道支部は、昨年も初期の計画をほぼ予定通り実施することができました。「美味しいそば」「仲間づくり」「地域貢献」を柱にして、会員団体が生き生きと活動を進められるよう、支部として各事業を会員からの意見をもとに進めております。そのために、支部役員会は月に一度定期的を開催し、情報の共有と相互理解を大切にしています。

昨年富山市で行われました第一回世界そば打ちグランプリ大会並びに第二回五段位全国大会において、北海道代表の仲間が優秀な成績で多数入賞したことは、とてもうれしいことでした。今年も「美味しいそば」を求めてそば打ち技術の研鑽に励みたいと思います。

本年度も、全麺協事業に積極的に参加し、全国の皆さんと交流を深め、「そば道」に邁進してまいりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

東日本支部長代行 水野敏雄

新年あけましておめでとうございます。

昨年開催された「世界手打ちそば名人グランプリ in 富山」「そば道五段位全国大会 in 富山」、大阪市においての五段位本審査会が、成功裏に終わることができたのは、会員皆様方のご協力と担当されたスタッフの方々の賜物と感謝申し上げます。

東日本支部は、昨年11月から新たな体制となりました、これからも地域振興と支部の執行体制の強化に取り組むとともに、各種事業の充実、会員相互の交流に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

ところで、間もなく、東日本大震災から15年が経ちますが、昨年12月には支部内の青森県沖を震源地とするマグニチュード6強の地震も発生するなど、近年は、大規模災害が数多く発生し、今後も、いつ、どこで発生するやもしれず、各行事等で対策を講じ、備えをすすめていきましょう。みなさまも御注意を！

首都圏支部長 腰原弘敏

新年明けましておめでとうございます。
平素から全麺協・首都圏支部の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年は全麺協本部執行部役員が一新され、これから更に全麺協は発展しなければならず、皆様のご支援とご協力をお願いしなければなりません。

さて、令和7年度の我が国経済は、36年ぶりに日経平均株価が過去最高値を更新し、平均賃上げ率も過去最高を記録するなど、景気回復基調が続きました。しかしながら、足下では米国の関税政策の突然の変更が世界経済にダメージを与え、特に景気をけん引してきた自動車関連産業や半導体関連産業が受ける影響は多大であり、今後の見通しは極めて厳しいものとなっています。

また、まだまだ戦争は各地で行われ、また火種もあり世界は混沌としています。

景気回復の一方で、深刻な物価上昇、賃上げ、人手不足が企業経営の足枷になっており、価格転嫁の動きはあるものの、全てコスト増加

をカバーするのは難しく、世の中の中小企業や個人事業主にとっては厳しい状況となっております。

また国政では、自民党が衆参両院で過半数割れを起こす結果となり政局もまた混沌としており、初の女性総理の元で今後どのように進んでいくか期待と不安であります。既に中国との対立が始まっておりこれからの国際情勢はどうなるのかと心配になります。

このような大きな環境変化の中、世の中の不安定さに一抹の不安を抱えながら、主要な段位認定会の更なる向上と、会員一人ひとりが技術向上のため首都圏支部は更なる事業の充実を図ってまいります。

今後も首都圏支部は、会員のために趣味であるそば打ちをみんなで楽しくできるような事業の運営機能の強化・適切な発揮に努めることにより、全麵協による手打ちそばの魅力を持続的発展に貢献し、会員の皆様をはじめとする「選ばれるそば打ち人」を目指して努力してまいりますので、何卒一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

中日本支部長 田中崇喜

あけましておめでとうございます。
新年にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

中日本支部では、「Let's Enjoy Soba Life」をスローガンに、サブタイトルとして「楽しいところに人は集まる」を掲げ、活動を続けてまいりました。

本日は、令和7年までの活動を振り返るとともに、令和8年に向けた展望についてお話しさせていただきます。

中日本支部では、令和6年度より、個人会員の皆さまのお考えやご意見を広くお聞きし、今後の活動の礎とする方針をとっております。

その一環として、個人情報の保護に十分配慮しながら、メールやLINEを活用した情報ネットワークの構築を進めてまいりました。

この取り組みにご賛同いただける方は年々増加しており、個人会員の皆さまへの迅速かつ正確な情報提供が可能となっただけでなく、お一人おひとりのご意見やご提案を集約することも容易になりました。さらに、事務処理の効率化にもつながり、中日本支部が正会員・個人会員の皆さまと共に歩いていくための重要な基盤を築くことができたと考えております。

また、中日本支部内におけるそば打ち人口の減少を食い止め、新たなそば打ち仲間を増やすことを目的として、各クラブにおいてホームページを作成し、その魅力を外部に発信するとともに、中日本支部のホームページとリンクさせる事業を、令和7年度末までに実施する予定です。その成果は、本年度以降に徐々に表れてくるものと期待しております。本年度は、皆さまが「楽しい」と感じながらそば打ちに取り組める環境づくりに、より一層注力してまいります。以下に、本年度の支部活動のポイントを示します。

支部活動のポイント

1. 「楽しいところに人は集まる」をキーワードに、各クラブでホームページを作成し、情報を外部に発信する。
⇒ 多くのそば仲間が集まることを願っています。
2. 本年度は五段位認定会が福井市で開催されるため、その準備等に協力するとともに、五段位受験技術講習会をはじめ、各種受験講習会の内容を充実させる。⇒ 講師の先生方と語らいながら、技術の向上を目指しましょう。
3. 地域に密着した活動を中心とし、大規模な事業は実施しない。⇒ 本来の地域密着型の活動に参画し、地域に貢献していきましょう。
4. 情報ネットワークのさらなる充実と積極的な活用。⇒ 中日本支部の個人会員の皆さまは、非常に高いレベルをお持ちです。

本年も「Let's Enjoy Soba Life」を合言葉に、そば文化のさらなる発展を心より願っております。

皆さまお一人おひとりの努力と熱意が実を結び、実り多き一年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

西日本支部長 米田隆一

全国の皆様、西日本支部の皆様、新年おめでとうございます。

昨年は西日本支部にとって大変良い年でした。4月には支部設立20年記念式典を開催し、多くの方々にご参加いただき、諸先輩のご努力を振り返ると共に、今後の更なる発展を誓いました。

10月に富山で開催された第一回世界手打ちそば名人グランプリ、第二回そば道五段位全国大会には西日本支部から多くの選手・スタッフにご参加いただき、優秀な成績を残すことが出来ました。

11月には支部で二回目、大阪で初めての五段位認定本審査会を無事に終えることが出来ました。このように様々な事業を通して支部の一体感を実感し、今後の発展を確信することが出来ました。会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

本年は山本新理事長と共に、全麺協40周年、50周年を目指す大切な一年になります。本部も支部も、役員も会員も、みんなで知恵を出しながら、新しい時代を切り開きましょう。丙午（ひのえうま）にちなんで、情熱と活力で素晴らしい年にしましょう。

各支部から

そば動画の公開『利根実生と知事がそばを打ってみた！』報告

令和7年8月7日（木）10時～12時 <会場>群馬県庁31階GINGAMにて利根実業高等学校生徒6名、指導先生、群馬奥利根連合そば会、地元県会議員、群馬県米麦畜産課担当が出席し、上記の動画(YouTube)を撮影しました。

諸々の編集を経て11月3日(月)群馬県YouTubeにアップされました。

群馬県担当者の方より多くの人に見て頂きたいと伝言を頂きました。

このアドレスにアクセスをお願い致します。

https://www.youtube.com/watch?v=bybCd_H00tk
群馬の若い力によるそば打ちご支援よろしく願いいたします。



知事・利根実業高等学校生徒・金井県議集合写真



知事への水回し指導



知事への延し指導



試食風景

群馬奥利根連合そば会事務局長
長谷川 弘

皆様からの情報提供をお待ちしています。

全麺協ニュースフラッシュ編集グループ

編集責任者 横田節子

編集主任 入江一統